令 和 6 年 1 1 月 8 日

滝沢市議会議長　角掛　邦彦　様

会 派 名　　自由民主クラブ
代表者名　　鍵本　桂

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第９条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

１　期日
令和６年１０月９日（水）　から　令和６年１０月１０日（木）　まで

２　活動場所
トーサイクラシックホール岩手

３　参加者
鍵本　桂、村木　香織、安部　理絵

４　活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体：自由民主クラブ

調査項目名称	調査研究（視察含む）・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	現代に求められる議会や議員の存在意義について、考えを深める為。
活動概要	●実施日 令和6年10月9日（水）～令和6年10月10日（木） ●場所 トーサイクラシックホール岩手 ●内容 全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡 「主権者教育の新たな展開」 ①10月9日（水） ・「地方議会の課題と主権者教育」をテーマにパネルディスカッション ②10月10日（木） ・課題討議「主権者教育の取組報告」
活動成果	現代に求められる議会や議員の存在意義について、考えを深めることができた。 この2日間だけでも沢山の議会活動のアイディアが湧き、滝沢市が取り組んでいないことが沢山ある事に気づくことができた。 余白だらけの未来に可能性を感じ、思わずワクワクした実りある研修だった。

令和６年１２月４日

滝沢市議会議長　角掛　邦彦　様

会 派 名　　自由民主クラブ
代表者名　　鍵本　桂

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第９条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

１　期日
令和６年１１月７日（木）　から　令和６年１１月８日（金）　まで

２　活動場所
（１）青森県七戸町
（２）青森県南部町
（３）青森県新郷村

３　参加者
鍵本　桂、村木　香織、安部　理絵、稲荷場　裕

４　活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体：自由民主クラブ

調査項目名称	調査研究（視察含む） ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	○七戸町・南部町・新郷村　視察項目：学校給食費の無償化までの取組 ・青森県内40市町村全自治体が小中学校の無償化を実現した経緯を学び、考えを深める為。 ○南部町　視察項目：災害時のドローンの活用 ・今般の自然災害に対応するためにもドローンを活用した現場確認などが不可欠だと考えている。 　また、市職員の安全確保や働き方改革、災害対策の初動を講じる観点からもドローン導入の経緯を学び、考えを深める為。
活動概要	●実施日 令和6年11月7日（木）　から　令和6年11月8日（金）　まで ●場所 七戸町役場七戸庁舎・南部町役場・新郷村役場 ●内容 ・小中学校給食費無償化の経緯と取組 ・自治体のドローン活用について ・自治体と防災協定を結ぶドローン民間企業との意見交換
活動成果	○七戸町・南部町・新郷村　視察項目：学校給食費の無償化までの取組 ・平成25年に七戸町と新郷村の2町村が小中学校の学校給食費無償化を独自で始め、令和4年までに17市町村（南部町を含む）まで広がったことを受け、子育て支援を公約に掲げて当選した宮下総一郎知事号令の下、取り組んでいなかった残り23市町村へ補助を出し、青森県内40市町村全自治体が小中学校の学校給食費無償化に取り組んだ経緯などを学んだ。 ○南部町：災害時のドローンの活用 ・今般の豪雨災害や滝沢市においては、岩手山の火山活動が活性化している状況に対応するためにも、ドローンを活用した現場確認などが不可欠だと強く感じた。また、災害箇所を職員が車で現地確認している現状では、市職員の安全確保や働き方改革、早急な災害対策を講じる観点からも災害時のドローンの活用が不可欠であり、早急な導入の必要性を感じた。 ○ドローン民間企業との意見交換 ・ドローン運用を民間委託することで、事故のリスクや機械の故障などを当局が負わないメリットがある。 ・ドローン運用を民間委託することで、初動が遅れる事や、平時では橋や建物の点検など何かしら工事を発注しないと会社の維持が難しいというデメリットがある。 詳細は別添のとおり。

会　派　行　程　表

年　月　日	時　　刻	行　　程
令和６年11月７日 （木）	10：59～11：26 11：35～12：30 13：30～15：30 15：30～16：25 16：30～17：40 18：00～20：00	盛岡駅⇒八戸駅（JR新幹線はやぶさ９号） 八戸駅⇒七戸町役場七戸庁舎（レンタカーにて） 昼食 **七戸町視察** **【視察項目】学校給食費の無償化までの取組** 七戸庁舎⇒八戸市へ（レンタカー移動） チェックイン 【宿泊】 コンフォートホテル八戸 （青森県八戸市尻内町舘田２－１６） 懇談会 コクサイ無人航空機株式会社（防災協定締結企業）
令和６年11月８日 （金）	9：20～9：50 10：00～12：00 13：00～13：45 14：00～15：30 15：40～16：20 17：06～17：44	ホテル⇒南部町役場 **南部町視察** **【災害時のドローン活用】** **【学校給食費の無償化までの取組】** 南部町役場⇒新郷村役場（途中昼食を含む。） **新郷村視察** **【学校給食費の無償化までの取組】** 新郷村役場⇒八戸駅（トヨタレンタカー返却） 八戸駅⇒盛岡駅（JR新幹線はやぶさ３８号）

令　和　７　年　２　月　　２６日

滝沢市議会議長　角掛　邦彦　様

会 派 名　　自由民主クラブ
代表者名　　鍵本　桂

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第９条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

１　期日
令和７年１月３０日（木）　から　令和７年１月３０日（木）　まで

２　活動場所
東京都千代田区霞が関２－１－３
中央合同庁舎　国土交通省会議室

３　参加者
鍵本　桂、村木　香織、安部　理絵、稲荷場　裕

４　活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体：自由民主クラブ

調査項目名称	調査研究（視察含む）　・　研修　・　要請陳情等
活動の理由 及び その目的	少子高齢化や人口減少が進む中、バス等の公共交通運転手の高齢化や人手不足が深刻化しており、地域公共交通の維持が難しくなっている。本市においても喫緊の課題となっているため、自動運転レベル4相当の運行を目指した自動運転技術の立証や社会受容性向上を目的とした実証実験を実施し、将来的な自動運転バスの社会実装に向けた検討を行う必要がある。 一方、交通事業者も、車両数減少、運転手不足・高齢化という問題を抱えており、現行の公共交通の運用のままでは根本的な解決策とはならない 。 公共交通の利便性低下による人工流出の抑制も自動運転バスの導入により解決へ導いていきたい。
活動概要	●実施日 令和7年1月30日（木） ●場所 東京都千代田区霞が関2－1－3中央合同庁舎　国土交通省 ●内容 全国で自動運転の実証実験や運用が進むなか、本市で自動運転がどの程度実現可能なのか。また、自動運転に係る補助事業制度と、制度内容の調査を目的とした調査活動。
活動成果	○国は積極的な自動運転への移行を推進しており、令和7年度予算には100億円規模の自動運転事業予算を見込んでいるとのこと。自治体の積極的な活用を望んでいると認識した。 ○支援事業はレベル4自動運転移動サービス実装に係る初期投資の支援を目的としており、ルート選定などの調査費や実施計画調査など、実施に向けた初期調査も補助対象となり、東北地方整備局の伴走支援も可能とのこと。 ○令和6年度の公募で地方公共団体から申請のあった事業のうち、99の自治体が交付決定をうけており、多くの自治体が自動運転実施へ向け取り組んでいる。また、北海道や北東北など寒冷地域でも採択されており、本市も早急に取り組みを開始する必要があると認識した。

会　派　行　程　表

年　月　日	時　　刻	行　　程
令和７年１月30日 （木）	10：51～13：04	盛岡駅⇒東京駅（JR新幹線はやぶさ　１６号）
	13：18～13：20	東京駅⇒有楽町駅（JR山手線）
	13：20～13：34	有楽町駅⇒霞が関
	15：00～16：20	**中央合同庁舎　国土交通省** **【調査研究】自動運転の取り組み事例と補助制度について**
	16：48～17：07	霞が関駅⇒東京駅（東京メトロ丸ノ内線）
	17：20～19：33	東京駅⇒盛岡駅（JR新幹線はやぶさ　３９号）
		調査終了・解散